

なぜ英語が話せないの

〈35〉

会話上達法—第三部—

米國ユタ州・ソルトレークンた。
 チーに「総本山」のある「末日
 聖徒イエスキリスト教会」(モ
 ルモン教会)は、世界各地に若
 い宣教師を派遣して活発な布教
 活動を行っている。久留米市で
 も現在、四人の若者が街角に立
 ち、流ちょうな日本語で神や宗
 教について語りかける。

必要な外人との会話

初歩的な表現を暗記しよう

宣教師の一人、リード・ファ
 エストさん(○)は八カ月前、日
 本にやってきたが、今では日本
 語会話はペラペラ。「漢字は苦
 手」とはいえ、短期間での上達
 ぶりにはわれわれの目には驚異と
 させ眼る。彼は中学、高校、大
 学で日本語習ったわけではな
 い。日本語に関する知識ゼロの
 状態から、アツという間に相当
 レベルの会話を習得してしまっ

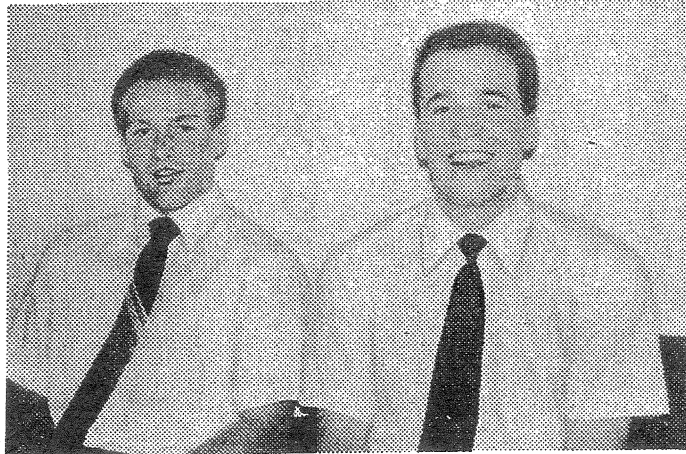
カ月前、日本語の集中特訓を受
 けました。一日八—十時間、か
 ん詰めになつて日本語の上手な
 先生から習つたのですが、文法や
 単語の中心は会話、大半の時
 間は覚えたことをオウム返しに
 しゃべらされた

式で詰め込まれる。
 ファエストさんは「こんち
 は、私の名前は××です。○○
 出身です。△△歳になります」
 —と初歩的な表現を理屈抜き
 で暗記した。同時に「からしま
 の数え方、続いて歌に合わせ
 て頭、肩、ヒザ、足など体の各
 部分の呼称を覚えろ」といった真
 合、特訓中は英語の使用は禁止

され、言語のしゃべれない乳幼
 児同様、親(先生)の言うこと
 を繰り返して口にし、自分のもの
 とするしか方法がない。
 さらに十分な基礎がないうえ
 に、難しい単語や概念の説明を
 要する宗教を、どう分りやす
 く日本人に話すか—反復練習
 する。短期間のうちに、ごく大
 さっぱな、骨格、だけを習つて
 来日。あとほど度胸と熱意が大切
 で「一日平均五時間も日本人と
 話していれば、例え半年間でも
 会話能力は急カーブで上達す

る」と、同僚のエドモンド・カ
 ドザさんは指摘している。
 ファエストさんは大学時代、
 ドイツ語を習つたが、ドイツ語
 を話す人間(ドイツ人など)と
 会話の機会がなく、モノになら
 なかった。「外国語の習得には、
 ネイティブスピーカーと出来る
 だけ多く会話を交わし、恥ずか
 日に同市通町十二丁目三九八ノ

いるのに……。会話を歌のよう
 に「そらへり暗記すればいい」。法や単語に重点を置くことは決
 してない。
 同教会は、毎週月、木、土曜
 してない。



「外国語習得にはネイティブスピーカーと話す機会を増やすのが近道」と語るファエストさん(○)とカドザさん